

# II-4

## 2018年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	津軽鉄道でむすぶまちづくり		
担当者	西城戸誠・長峰登記夫		
実施時期	2019年2月16日～19日（予定）	日程	3泊 4日
実施場所	青森県五所川原市、中泊町、つがる市ほか		
協力機関	企業組合でる・そーれ 津軽鉄道サポーターズクラブほか		
募集人員	15～20名程度（参加者が10名に満たない場合は、催行を中止することがある）		
学習目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域づくり、まちづくり、着地型観光の実際を学ぶ</li> <li>・「ふるさと」とは何か、「地域」で生きていくとはどういうことかを考える</li> <li>・「食」を中心とした六次産業化、映画制作、コミュニティカフェによるまちづくりを学ぶ</li> </ul>		
行程	<p>1日目 五所川原市内街歩き、立佞武多の館訪問 コミュニティカフェとまちづくり（講演）、農家民泊宿泊</p> <p>2日目 津軽鉄道（ストーブ列車）、斜陽館・新座敷、</p> <p>3日目 映画作りと地域観光、冬の農業から考える「食文化」と観光、ワークショップ開催。</p> <p>4日目 まとめのワークショップ</p> <p>内容は変わることがあります</p>		
宿泊場所	住所〒 五所川原、中泊町、つがる市等	施設名	TEL
費用	約 41,000～43,000 円（往復の交通費は含まない）		
事前・事後 学習の予定	ガイダンス1回（10月中）、事前学習会3回（11, 12, 1月に実施）、事後学習会1回（3月 or 4月上旬に実施） （事前講義の日程については、後日掲示します）		
注意事項	<p>(1) 参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。</p> <p>(2) 募集に際して、レポート課題を課す予定。詳細は9月以降に発表する。</p> <p>(3) 現地（五所川原）集合であり、前日に深夜バスか、当日、新幹線（はやぶさ1号）に乗車できること。</p> <p>(4) 受け入れ団体の都合で、参加学生の年齢制限があります（おおむね30歳まで）。</p>		
選考基準	エントリーシートで判断ができない場合は、面接もしくは追加レポートによって選抜する。		
評価方法	事前事後学習の参加、フィールドスタディの参加状況、レポートによる		

フィールドスタディⅡ期・津軽鉄道で結ぶまちづくり（奥津軽FS）・応募に関して

「津軽鉄道で結ぶまちづくり」（奥津軽FS）に参加希望の学生は、所定の用紙に志望動機を書いて応募し、かつ下記の課題を別途、提出してください。

課題：小島聡・西城戸誠（編著）『フィールドから考える地域環境』（ミネルヴァ書房）の第9章を読み、以下の点について論述してください。

（a）フィールドワークとフィールド体験の違いとは何か。また、一般的にフィールドスタディ、体験に参加する前に行うべき作業は何か、簡単に整理して述べよ。

（b）フィールドにおける「よそ者」の役割について、「この奥津軽フィールドスタディの参加者は、観光客としての主体ではなく、「実験台」（モニター）である」という表現の意味を指摘しながら、説明せよ。

字数：3000字以上（A4で2-3枚以上）

提出期限：2018年11月19日17時まで

提出先：人間環境学部資料室